

はじめに

私たちは、先人が培った伝統文化を継承しつつ、豊かな緑や清らかな水、豊穡な田畑など、自然環境の恩恵を受けて日々を過ごしています。

ところが近年は、生活スタイルの変化や地球温暖化の影響などにより、さまざまな環境問題が深刻化しています。これらの環境問題の解決のためには、私たち一人ひとりが生活のいろいろな場面において、環境に配慮しながら行動する必要があります。

“環境に配慮しなければならないことはわかっているが、具体的にどのように行動すればよいかわからない”と迷っている方も多いのではないのでしょうか。

そこで、県は、「地域でつなぐエコ体験モデル推進事業」として、環境問題についてテーマごとに認識を深めることができる体験型モデルコースを本書のとおりまとめました。具体的な活動を見たり体験することによって、身近な生活と環境との関わりについてご理解いただき、次の一步を踏み出すきっかけになれば幸いです。

最後に、モデルコースを策定していただいた県内各地域の“エコ・もり”地域推進協議会の皆様と、ご協力いただいた各施設の皆様に厚くお礼申し上げます。

平成22年3月

栃木県環境森林部地球温暖化対策課長

地球と人にやさしい“エコとちぎ”づくり県民宣言より

- 1 ふるさとの恵みに感謝し、環境にやさしい暮らしを楽しみます。
- 2 ごみを減らし、ごみを捨てず、ごみを拾い、日本一きれいな“とちぎ”にします。
- 3 水やもの、電気などを大切に使い、限りある資源を未来へ残します。
- 4 木を植え、木を育て、木を使い、“とちぎ”の元気な森をはぐくみます。
- 5 身近な里山や川などを守り育て、豊かな自然を将来に引き継ぎます。
- 6 みんなが誇りを持ってエコに取り組み、“とちぎ”から地球を元気にします。

平成21年12月5日